

首里城扁額製作検討委員会 第1回 【議事概要】

日時：10月3日（月）14：00～17：00

会場：沖縄県市町村自治会館 4階大会議室

1. 令和4年度の進め方【資料1】

- 令和4年度スケジュールについては、資料の通りに進めてよい。

2. 材料調達状況【資料2】

- ヒノキ材の条件および調達について、資料の通りに進めてよい。
- イヌマキ材について実物を確認したところ、長さ・幅も扁額3枚分とるのに十分で、柁目で良材であった。木作業場にて1枚目の「中山世土」用に木取した状態で経過観察し、本製作用に使用できるか判断していくことでよい。
- 焼成クチャ地の粉は硬化に時間が掛かり、扁額の作業工程では支障をきたすので、瓦地の粉を使うことでよい。

3. 扁額仕様【資料3】

①根拠資料の考え方について

- 根拠資料の考え方について、優先順位は尚家文書が第一であるが、「中国皇帝関連物」という点も考慮しなくてはならない。額縁文様等の意匠関連の規則は中国皇帝関連物から、塗装等の技術関連は琉球事例等から当時の技法として参考にし、情報の使い分けが必要。
- 琉球事例や中国・台湾事例というまとめ方ではなく、皇帝関係であることが重要で、ステップ2には「皇帝関係事例」が来るべきである。扁額は中国の冊封使が見た際に違和感がないようにしておく必要がある。技法や製作方法については他事例を参考にしたい。

②扁額の仕様について

- 向龍の配置、額縁との取り合いについては「2分の突出」と具体的に表現せず、試作図案と合わせて引き続き検討した方がよい。
- 地板の塗りの並びは事務局が解釈したとおりでよい。額縁に黒い枠がある事例も確認できている。
- ワーキングで検討した作業工程については、尚家文書情報の解釈を再整理して、再度検討したほうがよい。
- 「鏡」というのは地板の表、裏の両方を指している可能性がある。地板の塗り全般の作業なのか、裏側のみの作業を指すのか、尚家文書には十月二十日以前に塗りの作業の記載が出てこないか、文書関連の専門家に改めて確認してもらう方がよい。
- 断面構造の考え方について、吸付棧の横幅はホゾの幅と同じでよく、吸付棧を額縁に差し込む深さと地板を額縁に差し込む深さは同じ寸法がよい。

- 正龍の図案は、立方体の枠内に頭部のみではなく、一頭全体が横たわる形で収まるという考えもある。琉球や中国の皇帝扁額でも一般的な図案なので、その図案も含めて検討して欲しい。
- 中国皇帝扁額ではかなりの頻度で龍は9頭、阿形、5本爪となっているので、今回の扁額も同様の内容で決定でよい。配置は琉球事例に無いので、中国皇帝関連物を参考にした案でよい。阿形は他の皇帝意匠をみても全て阿形しかない。「龍の背景に雲文」については、龍の体に雲文がまとわりつく場合もあるので、確認すること。追加事項として、宝珠を入れるか、掴ませるかという点がある。中国皇帝関連物でどの場合に掴むのか、どのような構図かを確認して欲しい。見たところ、琉球側の中国皇帝意匠は宝珠を掴んだ文様が多いが、それで進めて問題が無いか確認が必要。
⇒今回資料で整理している琉球事例は、中国皇帝扁額ではない。
- 額縁の彫刻方法については、現時点では、浮彫り、透彫りどちらの可能性も有る。⇒龍彫刻は、透彫りの方向とする。ただし、事例調査は引き続き進めながら、新たな見解があれば追加検討することとする。

4. 扁額試作（案）【資料4】

- 髹漆技術者と工程手順を確認したところ、文字を張り付ける前に黄色塗りは全て仕上げておき、その上から題字のパーツを麦漆や膠等の接着剤と木釘を使って貼り付ける方法を考えている。
⇒木地の段階で貼り付けする方がよいのでは。黄色塗りを仕上げた後に張り付ける方法にすると、膠だと接着が弱くて剥がれるし、麦漆だと際がはみ出して綺麗にならない等、技術的に困難と考える。部分的に手板試作で検討した方がよい。
- 「致和」扁額での題字の貼り付け技法をベースにして検討していくとよい。
- 事務局案の試作品は、片側の額縁断面を見せるのはよいアイデアだが、断面の部分を別材で補強する場合、本来は無い別部材ということがわかるよう、見せ方を工夫した方がよい。
- 先程、地板と額縁の組み立てと塗りの工程順序が議論になっていたが、原寸試作の際に試してみても、本作時の工程を決定することでよい。
- 文字の厚み・形状について、扁額「致和」は規模が違うため、正殿扁額の規模との比率で計算した厚みで確認する必要がある。その厚みと、試作で確認してみないと見えてこないなので、資料にあるように複数案で試作する方向でよい。
- 台湾の研究者の論文によると、孔子廟に扁額設置の記載があるので、確認していただきたい。康熙帝の文字の特徴が分析されているので、文字製作の担当者に情報共有して、再確認して欲しい。

5. 製作体制（案）【資料5】

- 資料の通り進めることとする